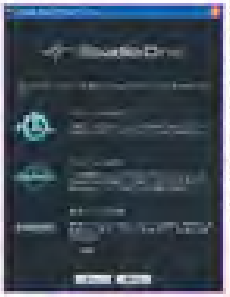
STEP02

Piapro Studio をプラグイン

V3シリーズで初めて搭載されたボーカルエディターソフト「Piapro Studio」の使い方を紹介します。「Piapro Studio」はプラグインソフトなので、DAWアプリケーションに取りこみ、連動させることが可能です。

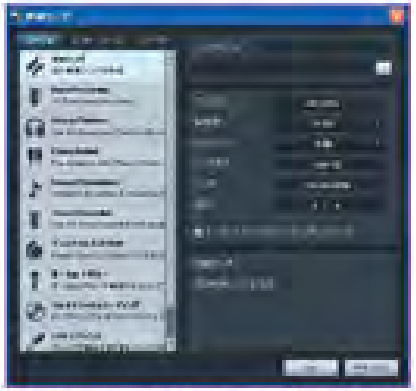
01 Studio One をアクティベート

インストールした「Studio One2」のアイコンをダブルクリックしてStudio Oneを起動しましょう。「初音ミクV3」に入っているStudio Oneインストーラーは32bit用なので、64bitを使う場合は、PreSonusの公式サイトから64bit版のインストーラーをダウンロードしておく必要があります。



初回起動時にはアクティベートが必要です。「アクティベートまたはアップデート」を選択し、Studio One の DVD-ROM ケースに記載されたプロダクトキーを入れてアクティベーションしておきましょう。

サンプルコンテンツのインストールウィンドウが表示されますので、「DVDまたはローカルコンテンツからインストール」を選び、表示されるサンプルコンテンツをインストールしていきます。



スタートページが表示され、「新規ソング」から新規ソングの設定画面になります。ソングタイトル、保存場所、テンポや拍子などを設定することができます。

HOW TO DTM

「新規ソング」ではテンポや拍子の他に、サンプルレートやタイムベースなど、細かい設定をすることができます。使い慣れてきたら自分の使いやすいように設定してみましょう。

▶サンプルレート

1秒間に何回サンプリングするかの値。一般的なCDに使われる周波数が44.1kHzなので、これは最低限それにそろえてOKです。

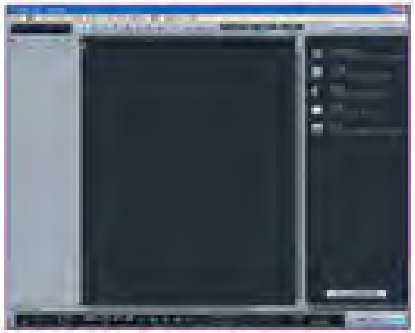
▶タイムベース

曲の長さを記録する単位のこと。小節だと曲が小節単位ごとで記録されます。そのままでOK。

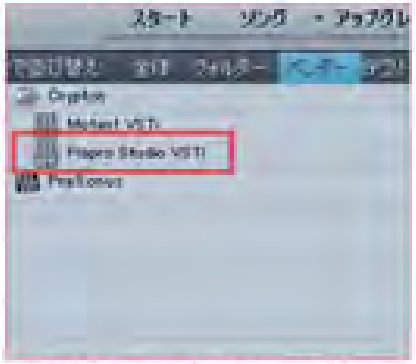
▶ソングの長さ

終わりの長さを設定することができます。

02 Piapro Studio をプラグイン

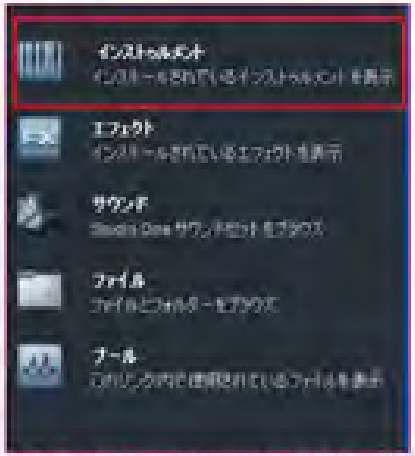


Studio One 起動時の画面はこちら。

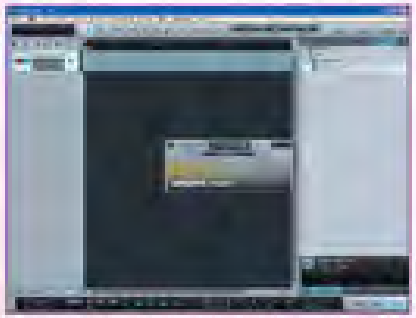


上バーのメニュー「ベンダー」をクリック。「Dryptor」のファイルアイコンをダブルクリックすると「Piapro Studio VSTi」が表示されます。

「Piapro Studio VSTi」を上図のように左側にドラッグ&ドロップします。



画面右側のメニューから「インストゥルメント」をクリックします。



「Piapro Studio」起動画面が表示されるので、表示された「Piapro Studio」のロゴ、または別ウィンドウで開いた Piapro Studio を最前に持ってきてプラグインが完了です。

STEP05

オートメーショントラックでより聴こえやすく

基本的な打ち込みが終わったら、次は音符ごとの情感に変化をつけ、より聴こえやすく、より自分の理想に近づけた曲を目指していきましょう。ここではオートメーショントラックの使い方を紹介していきます。

01 オートメーショントラックとは

トラック内にある［VEL］や［DYN］などのアイコンが表示されている箇所がオートメーショントラックです。［Piano Studio］の設定では基本的なベロシティ値などが設定できましたが、こちらでは音符ごとの設定をすることができます。

02 オートメーショントラックを表示する

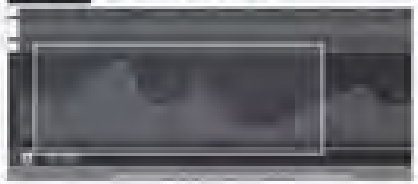
トラック内のアイコンをクリックすると上図のようにピアノロール下に選択したパラメーターが音符ごと表示されます。

トラックヘッダー下部にある［+］ボタンからでもオートメーショントラックの一覧を表示することができます。

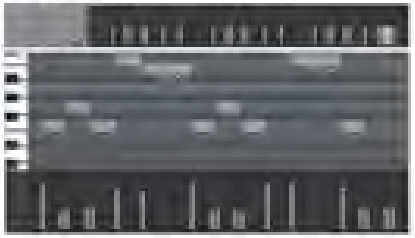
03 パラメーターの入力・削除

【入力】入力は鉛筆ツールで、自由に書いた音符ごとのパラメーターを変更することができます。

【削除】削除する場合は矩形選択ツールで範囲を指定し、キーボードの「Delete」キーで消すことができます。

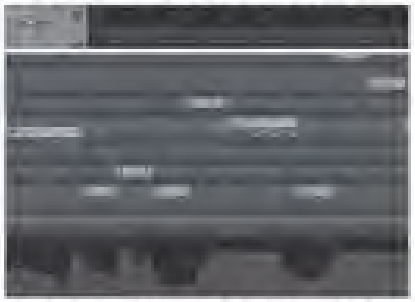


▶ Velocity　ベロシティ



音符の強弱を調節します。選択ツール、または鉛筆ツールで音符ごと表示された音符の大きさを上下させ調節します。

▶ Dynamics　ダイナミクス

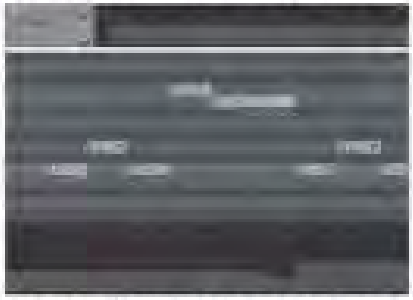


アクセント付け、抑揚付けしたいときなどにパラメーターを変化させてみましょう。音にメリハリが出ます。

▶ Breathiness ブレスレス

数値を高くすると息遣いが聞こえるウィスパー音になります。音の終わりを自然に消したいときに使うと便利です。

▶ Brughtness　ブライトネス



音の終わりにノイズが発生してしまう場合や、音を小さくしたい場合にはこの数値を下げて調節してみましょう。

▶ Clearness　クリアネス

数値を高くするとその音がよりクリアに聞こえ、シャープでクリアな音の印象を出すことができます。

▶ Gender Factor　ジェンダーファクター

数値を高くすると男性のような年輪のある太い声に、低くするとアニメ声のようなキンキン声に変化します。

STEP01

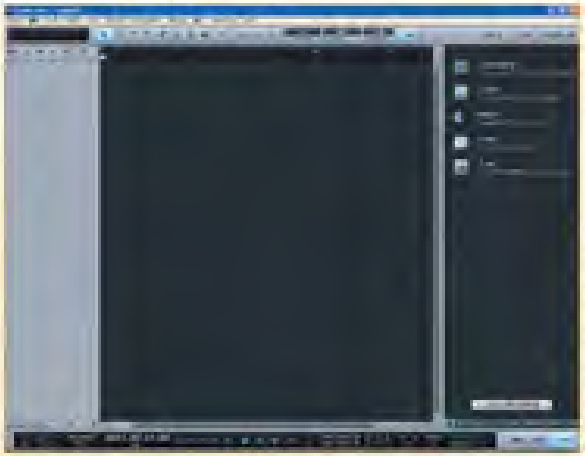
Studio One2の設定をしてみよう！

「初音ミクV3」には200種類以上もの楽器音を収録した音源も同梱されており、Studio One内でインストールしておくことが必要です。作曲に入る前に、Studio Oneでの下準備をしておきましょう。

01 Studio Oneを起動しよう

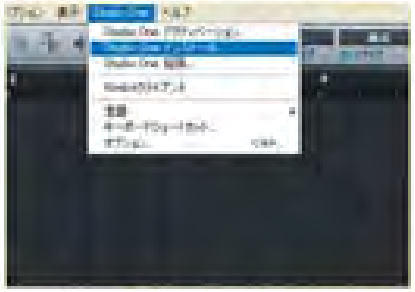
「Studio One」はDAWアプリケーションソフトです。様々な楽器の音を使って、作曲をすることができます。

▶24ページで紹介したPianoStudioのプラグインカードで紹介したのと同じ手順で「Studio One」を起動します。

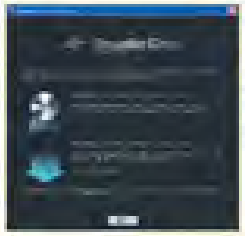


02 音源をインストール

「初音ミクV3」の魅力のひとつでもある、200種類以上の楽器音源をインストールしておきましょう。音源の種類が豊富で眺めてるだけでも楽しくなります！



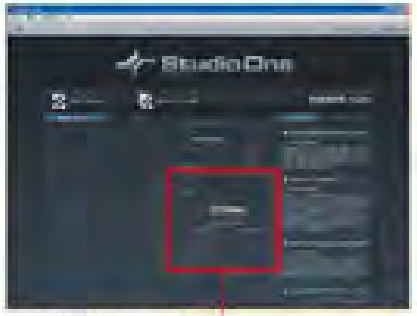
Studio OneのディスクはPCに挿入しておきましょう。メニューバーから［Studio One］→［Studio One インストール］をクリックします。



左図の画面が出てくるので［DVDまたはローカルフォルダーからコンテンツをインストール］のほうを選択します。

インストールできるコンテンツの一覧が表示されます。インストールしたいもののチェックボックスにチェックを入れ、インストールを開始しましょう。

03 Studio Oneの設定



あらかじめ各種設定をしておくと操作が便利になります。まずはオーディオデバイス設定をしてみましょう。スタート画面中央下にある［設定］からオーディオデバイス設定を選びます。

正しいデバイスが接続されているかオーディオデバイスの欄で確認します。オーディオインターフェースを持っていて設定されていない場合はプルダウンメニューから選択しましょう。

オーディオ設定のアイコン横にある［外部デバイス］設定では、MIDIキーボードなど、外付けのデバイスの接続の設定をすることが可能です。外部デバイスを持っている場合は設定しておきましょう。

STEP06

ミックスダウン（書き出し）してみよう♪

エフェクトをかけて曲が完成したらいよいよ書き出し。ここではWaveなどのオーディオファイルへの書き出しを紹介していくよ。

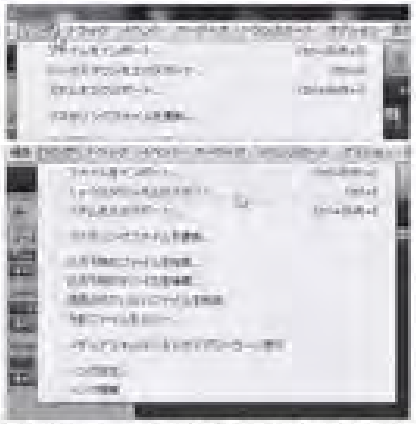
01 マーカーの設定

曲の始まり（スタート）と終わり（エンド）を決めたら、マーカーを設定しましょう。始めマーカーは［マーカートラックを開く］をクリックします。

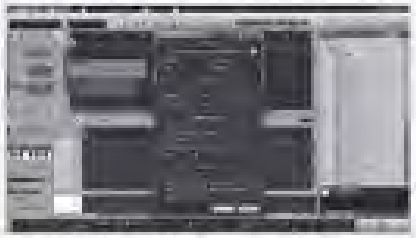
スタートのマーカーは1小節の始めに設定します。エンドのマーカーは曲が終わるところに設定しますが、余韻を残すため曲が終わってから数小節残せるといいでしょう。

エンドマーカーを17小節のところにドラッグします。

02 ミックスダウン



［ソング］から［ミックスダウンをエクスポート］を選びます。



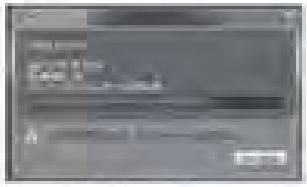
［ミックスダウンをエクスポート］が開きます。次ページで設定を解説します。

［ロケーション］は、保存先やファイル名の変更、Nimbitにアップロード［ネットで公開］するかを選ぶことができます。ここでは、ファイル名を「happy_mix」としました。また［公開しない］を選択しています。

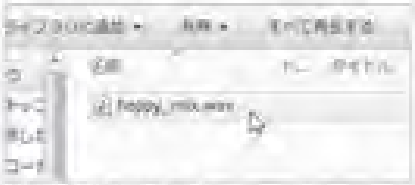
次に［フォーマット］は、書き出すデータの形式を設定できます。［Wave］［AIFF］［FLAC］［Ogg Vorbis］に書き出せますが、今回は［Wave］に設定しました。

［範囲をエクスポート］では、書き出す範囲を指定できます。先頭スタート/エンドマーカーを設定してあるので、ここではソングスタート/エンドマーカー間を選びます。

最後に［オプション］ですが、今回は特に変更していません。トラックにインポートにチェックを入れると、書き出されたオーディオデータがトラックに挿入されます。ここまでの設定を確認して問題なければ［OK］をクリックします。



書き出し時に「クリッピング」が起きましたと出る場合があります。「クリッピング」とは、音量レベルが大きくてノイズが混じってしまうことです。これを解決するには、ボリュームを調整したり、「ノーマライズ」をしたり、「コンプレッサー」や「リミッター」というエフェクターを使ってみましょう。



無事書き出しが完了したら、オーディオファイルを開いて聞いてみてください。また自分だけで楽しむのではなく、友達に聞かせてあげたり、共有サイトに投稿してみてもいいかもしれません。

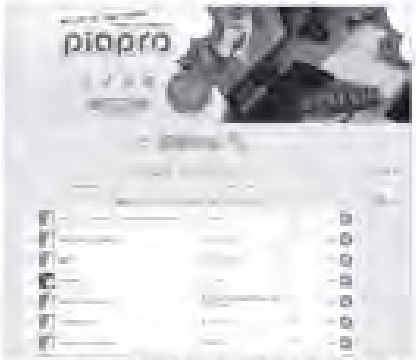
STEP01

VOCALOIDの素材が盛りだくさん! 「piapro」を使ってみよう♪

初音ミクたちを生み出したクリプトン社が運営するCGM型コンテンツ投稿サイト「piapro（ピアプロ）」をご紹介します。クリエイターたちが投稿した音楽やイラストに出会える、新作の楽しいに参加してみましょう！

01 piaproとは?

piaproは、クリプトン社が運営しているCGM型コンテンツサイトです。さまざまな分野で活躍するクリエイターたちが音楽やイラストを公開し、サイト利用者たちと協働して新たなコンテンツを生み出していく"創造の場"です。



「piapro」では、音楽・イラスト・テキストや3Dモデルなどを投稿することができる。また、利用規約を守れば、投稿されている素材を使用することも可能。他のユーザーの投稿作品から自分にぴったりの素材を見つけよう。

ブログもチェック!

サイトには、投稿コンテンツ関連の最新ニュースなどを掲載する「ピアプロブログ」が設置されている。関連するVOCALOIDイベントやメディアミックス作品について知ることができるので、ぜひ覗いてみて。

02 会員登録(無料)

「ログイン」（新規会員登録）をクリックする。利用規約をよく読んでから、「同意して次へ進む」を選択。

パソコンで新規用登録メールアドレスを入力し、「次へ進む」ボタンをクリックすると、入力したメールアドレスに新登録メールが送られる。

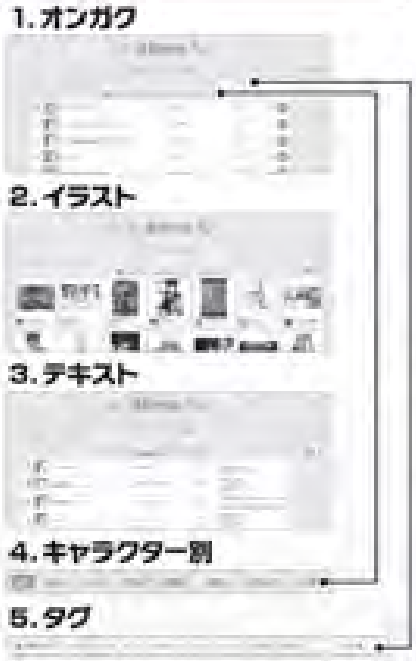
「仮登録メール」に送信されたURLをクリックし、本登録画面へ進む。

ユーザ名、パスワードなどの必要事項を記入して、本登録完了。

投稿する前に確認しよう

- piaproに投稿できる作品は、あくまで「オリジナル作品」か「piaproに投稿され、公式等許諾されている作品」に限られます。
- コンテンツを使用したことは、できるだけ「使ってもらいました」と報告するようにしよう。

03 マイページ



1.オンガク
投稿された音楽タイトルが並んでいます。すでに配信がついているものから、作詞募集中のインストまで、アップできるのは20MB以下のmp3形式です。

2.イラスト
サムネイル形式のイラストデータが並んでいます。対応しているデータ形式は、JPEG、GIF、PNG。気に入った一枚を見つけたらダウンロードしましょう。

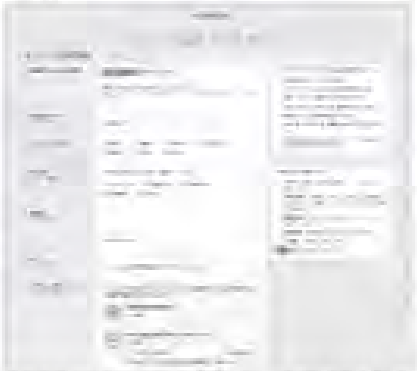
3.テキスト
投稿された作詞を紹介しています。音楽や画像と組み合わせて、ボーカロイドに歌ってもらおう。

4.キャラクター別
クリプトン社の6人のVOCALOIDキャラクターとその他の項目があり、好きなキャラ別に作品の一覧を見ることができます。

5.タグ
並んでいる作品の上のほうに、注目のタグがいくつか紹介されています。他の「タグ一覧」をクリックすれば、人気のタグを分類に見ることができます。

04 コンテンツのアップロード

マイページ画面のトップで、左上の［新規投稿］をクリック。コンテンツ投稿画面に進み、投稿するファイルを指定します。



作品のタイトル、テーマキャラクター、タグなどを入力。そして、非営利目的に限定し、作品の改変を許可するといったライセンス条件を選択します。これは後で変更できないので慎重に選びましょう。

動画を作ってみよう!

piaproを利用して、オリジナル動画を作ってみよう！「動画作成ガイドライン」は、次のページの「Piaproムービーメーカー」の説明もチェックしておこう。